

「バルテマイの癒し」

マコ 10 : 46～52

1. はじめに

(1) 文脈の確認

- ①イエスは、エルサレムへの途上で、さまざまなテーマについて教えた。
- ②前回は、イエスによる受難と復活の予告であった。
- ③弟子たちは、その意味が理解できなかった。
- ④弟子たちが乗っている文脈と、イエスが語っている文脈とが異なる。
 - *イエスは十字架に向かって進んでいる。
 - *弟子たちの認識では、戴冠式に向かう王の行列に参加している。
- ⑤このことを前提に、きょうの箇所を読む必要がある。
- ⑥単純で、美しい物語である。

(2) A. T. ロバートソンの調和表

§ 126 盲人のバルテマイとその仲間の癒し

マコ 10 : 46～52、マタ 20 : 29～34、ルカ 18 : 35～43

2. アウトライン

- (1) 状況説明 (46 節)
- (2) バルテマイの願い (47～48 節)
- (3) イエスの答え (49～52 節)

3. 結論

- (1) 逆転の法則
- (2) 機会の法則
- (3) 弟子の法則

盲人の癒しを通して、弟子道について学ぶ。

I. 状況説明 (46 節)

1. 46 節

Mar 10:46 彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人の物ごいが、道ばたにすわっていた。

- (1) イエスの一行は、ペレアを去ってヨルダン川を渡り、エリコまで来た。

- ① エリコはユダヤの一部である。
 - ② エリコからエルサレムまでは、徒歩で1日の道のりである。
 - ③ 多くの群巡礼者が、エルサレムに向かっていた。
(例話) 今年のペサハは、4月3日(金)の日没から始まった。
- (2) 盲人は、何人いたのか。
- ① マタ 20 : 30 では、「ふたりの盲人」となっている。
 - ② マルコの福音書では、ひとりである。
 - ③ これは、矛盾ではない。
* 盲人はふたりいた。
* マルコは、より目立つ人物に焦点を合わせている。
- (3) この出来事が起こった場所は、どこか。
- ① ルカ 18 : 35
「イエスがエリコに近づかれたころ、ある盲人が、道ばたにすわり、物ごいをしていた」
 - ② マコ 10 : 46
「彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人の物ごいが、道ばたにすわっていた」
 - ③ これは、矛盾ではない。
* 旧約のエリコ
* 新約のエリコ (ヘロデが冬の王宮のために建設。南に約2キロの場所)
* イエスは、旧約のエリコを出て、新約のエリコに向かっておられた。
(例話) 不信仰な質問をする学者 「第3の盲人」
- (4) 当時の盲人の社会的地位は、どのようなものであったか。
- ① 盲人や身体にハンディのある者は、一般職に就くことができなかった。
 - ② 生き延びる唯一の方法は、物ごいをすることであった。
* 通常は、人通りの多い場所に座った。
 - ③ 彼らは、社会的弱者であったが、モーセの律法によって守られていた。
 - ④ 宗教的には、見下されていた。
 - ⑤ 子どもたちが見下されていたのと、同じである。

II. バルテマイの願い (47～48 節)

1. 47 節

Mar 10:47 ところが、ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください」と叫び始めた。

- (1) 彼は、イエスに関する知識を持っていた。
 - ①ナザレのイエスは、盲人の目を開いた方である。
 - ②そこで彼は、叫び始めた。

- (2) 「ダビデの子イエスさま」
 - ①彼は、イエスがイスラエルのメシアであることを信じた。
 - ②不信仰な指導者たちとは、対照的である。

- (3) イエスは、彼を黙らせなかった。
 - ①イエスは、「人の子」という称号を用いられた。
 - ②ここでは、「ダビデの子」と呼ばれることを受け入れている。

2. 48 節

Mar 10:48 そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください」と叫び立てた。

- (1) 人々は、彼を黙らせようとした。
 - ①大ぜいでたしなめた。弟子たちも入っていたであろう。
 - ②盲人は、王の行列を妨害している。
 - ③弟子たちが、イエスに近づく子どもたちを叱ったのと同じ構図である。
 - ④しかし盲人は、ますます激しく叫び立てた。

III. イエスの答え (49～52 節)

1. 49～50 節

Mar 10:49 すると、イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその盲人を呼び、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている」と言った。

Mar 10:50 すると、盲人は上着を脱ぎ捨て、すぐ立ち上がって、イエスのところに来た。

- (1) イエスは立ち止まられた。
 - ①エルサレムに向かう決意を固めている時でも、弱者への奉仕を忘れない。
(例話) タイムマネージメントと予定変更

②「あの人を呼んで来なさい」とは、たしなめている人たちへの叱責である。

(2) 人々は、盲人に励ましの言葉をかけた。

「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている」(新改訳)

「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ」(新共同訳)

「喜べ、立て、おまえを呼んでおられる」(口語訳)

「心安かれ、起て、なんぢを呼びたまふ」(文語訳)

「運のいいやつだ。おい、イエス様がお呼びだぞ」(リビングバイブル)

(4) 盲人は、すぐにイエスのところに来た。

①劇的な描写である。

②目撃者情報である。ペテロがマルコに伝えたと思われる。

2. 51～52節

Mar 10:51 そこでイエスは、さらにこう言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」すると、盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」

Mar 10:52 するとイエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。

(1) 「わたしに何をしてほしいのか」

①盲人の信仰を確認し、それを引き出すための質問である。

(2) 「先生」

①「ラボニ」とは、「我が主」という意味である。

②ヨハ20:16で、マグダラのマリアが復活のイエスにそう呼びかけている。

(3) 「あなたの信仰があなたを救ったのです」

①信仰が彼を癒したのではない。

②信仰は、癒しを受け取る方法である。

③さらに、肉体的癒しは、彼が霊的に救われたことを示している。

(4) この盲人は、イエスの後に従った。

結論

1. 逆転の法則

- (1) 先の者が後になり、後の者が先になる。
- (2) 「いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音とのためにいのちを失う者はそれを救うのです」(マコ8:35)
- (3) イスラエルは靈的盲目状態にあったが、この盲人は、靈的には見えていた。
「そこで、イエスは言われた。『わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです』(ヨハ9:39)

2. 機会の法則

- (1) イエスがエリコを通るのは、これが最後である。
 - (2) 盲人は、最初で最後の機会を有効に捉えた。
 - ①盲人は、一生懸命イエスに叫び続けた。
「神は言われます。『わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。』確かに、今は恵みの時、今は救いの日です」(2コリ6:2)
- (例話) テレビ伝道 「今が時です」

3. 弟子の法則

- (1) 弟子化のプロセス
 - ①まず、自らの無力を認識した。
 - *盲人であるので、一般人よりもその認識がある。
 - *上着を脱ぎ捨てた。象徴的行為である。
 - *上着は、防寒用であり、寝具であり、施しを受けるための道具である。
 - ②次に、イエスをメシアと認識した。
 - *神の恵みを与えてくれるのは、イエスだけである。
 - ③その結果、信仰による救いを体験した。
 - *肉体の癒しは、靈的に救われていることの証明である。
 - ④そして、イエスに従った。
 - *数日後に、彼はイエスの十字架の死を目撃することになる。
- (2) 盲人の視力の回復は、弟子たちの靈的目が開かれることの例示である。
 - ①弟子たちの目は、イエスの復活と聖霊降臨によって開かれる。
 - ②盲人のために立ち止まることこそ、神の国の本質に関係したことである。
- (3) バルテマイとは、「テマイの息子」という意味である。
 - ①実名が出て来るのは、初代教会で有名な信者になっていたからであろう。
 - ②「いのちの書」と「小羊のいのちの書」

*誕生した人の名は、すべて「いのちの書」に書かれている。

*不信者のままで死ぬと、その名は消される。

*信じた時に、「小羊のいのちの書」に名が記される。

*最終的には、「いのちの書」と「小羊のいのちの書」が同一のものとなる。

(例話) ホテルの予約表に名が記されていないことがあった。